

目白大学大学院言語文化研究科(各専攻共通)

2019 年度 第 I 期入学試験問題 小論文(60 分)

(一般入学試験)

試験時間：10 時 00 分～11 時 00 分(60 分)

注意事項

1. 問題冊子は開始の合図があるまで開かないでください。
2. この問題冊子の総頁数は、表紙を含め 6 頁です。
3. 解答用紙の所定の欄に、受験番号、氏名、フリガナを記入してください。
4. 解答はすべて「解答用紙」の所定のところに書くようにしてください。
5. 「メモ欄」は下書き等の目的に、自由に使用しても構いません。
6. 試験時間が終了するまで退室は認めません。
7. 問題冊子は、試験終了後に回収します。

目白大学大学院

2018 年 10 月 13 日(土)実施

次の問題 1 あるいは問題 2 のいずれかの問題を選択して解答しなさい。
(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること。)

問題 1 次の文章を読み、問(1)および問(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

著作権法に基づき公開しておりません。

(出典：古田 徹也『言葉の魂の哲学』，講談社，2018年)

問(1). 「言葉の立体的理解」とはどのようなことか、筆者の考えを 400 字以内で簡潔に要約しなさい。

問(2). 「言葉の輪郭を捉えること」は、私たちと言語との関係性にどのような意義をもたらすか、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

【メモ欄】

問題2 次の文章を読み、問(1)および問(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

(出典：藤原 正彦『国家の品格』，新潮新書，2005年)

問(1). 日本人に特有な感性について、筆者の意見を 400 字以内で簡潔に要約しなさい。

問(2). 「もののあわれ」について、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

【メモ欄】